

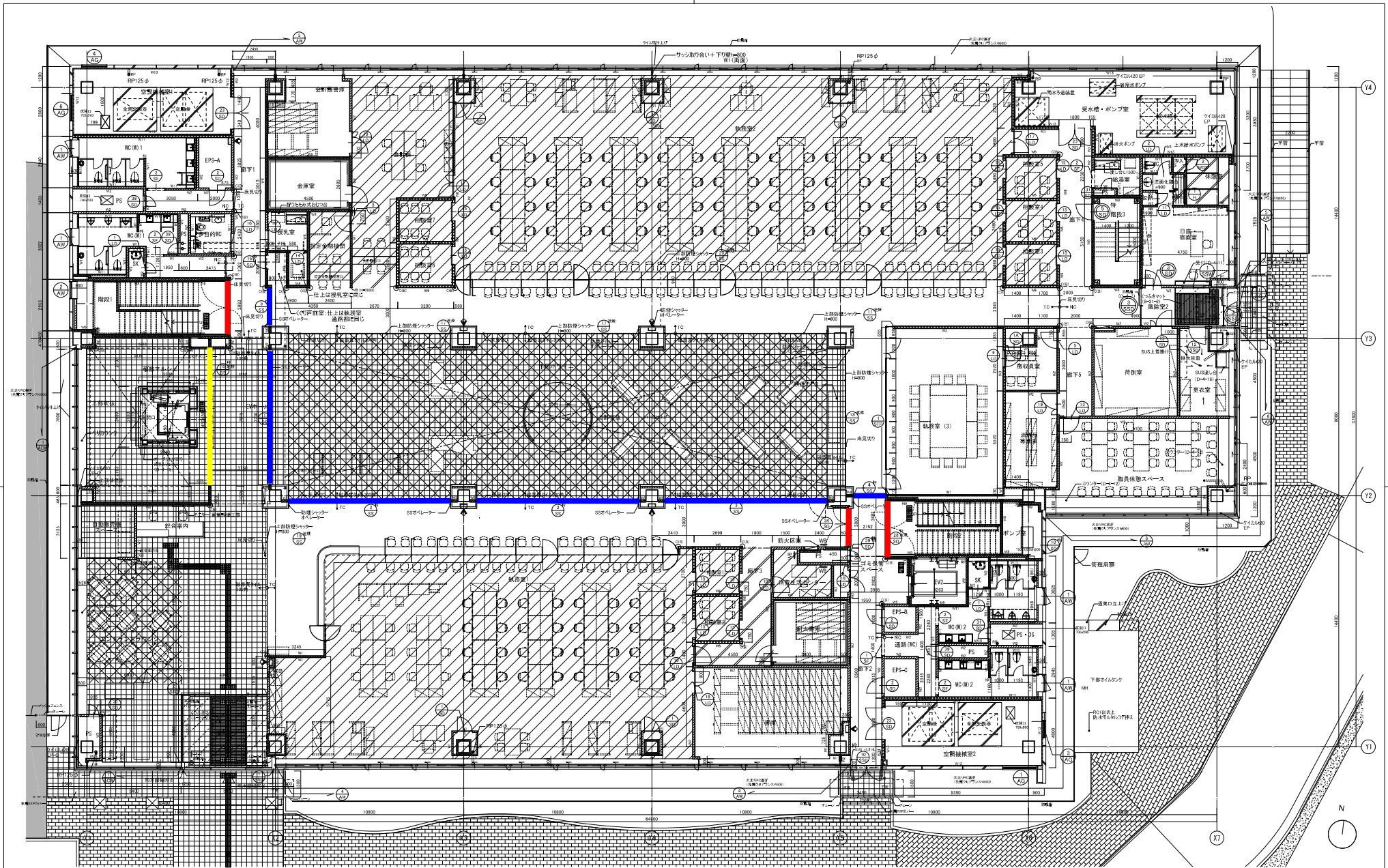
令和6年度 稲敷市役所本庁舎 建築物防火設備定期点検業務委託 仕様書

1. 業務名 : 令和6年度 稲敷市役所本庁舎 建築物防火設備定期点検業務委託
2. 場所 : 稲敷市犬塚1570番地1
稲敷市役所 本庁舎
鉄骨造 ・ 一部RC造 5階建
延べ床面積 9241.50㎡
3. 内容 : (1)有資格者による建築基準法第12条第3項に基づく建築物の防火設備の
定期検査
(2)指定様式により報告書を2部作成(図面添付)し、茨城県県南県民センター内
建築指導課への提出及び受領
(3)調査報告書に基づく指摘事項一覧の作成
4. 履行期間 : 契約日の翌日から90日間
(ただし、県建築指導課への提出書類は令和6年5月31日まで)
5. 特記事項 : (1) 本調査の有資格者とは、1級建築士又は2級建築士、国土交通大臣が定める
有資格者(防火設備検査員)のいずれかの資格を持ったものとする。
(2) 本業務の点検内容は、「防火設備の定期検査報告における検査及び定期点検
における点検の項目、事項、方法及び結果の判定基準並びに検査結果票を定め
る件(平成28年5月2日国土交通省告示第723号)」および「防火設備定期検査業
務基準」(一般財団法人日本検知器防災協会発行)に基づき行うものとする。
(3) 点検対象装置は建築基準法第12条4項の内容に基づくものとし、施設におけ
る防火設備の設置数は別紙による。
(4) 受託者は業務を行うにあたり、「業務着手届」・「業務工程表」・「管理技術者及び
照査技術者選任通知書」(資格者証の写しも併せて提出)を業務着手前に提出し、
委託者の承諾を得るものとする。
(5) 指定様式は、茨城県建築指導課が指定する関係様式一式(付近見取り図を含
む)とし、ファイリングするものとする。
(6) 業務に必要となる図面・過年度の消防設備点検等の結果は、受託者に対し委託
者より貸与する。
(7) 円滑な業務を実施するため、事前に委託者と現地調査実施期間(日)、作業時間、
調査時の安全確保について十分協議すること。
(8) 業務実施にあたっては、担当者の指示に従い誠実に業務を遂行すること。

令和6年度 稲敷市役所本庁舎 建築物防火設備定期点検業務委託 内訳書

番号	業 務	数 量	単 位	単 価	合 計 金 額	備 考
1	防火扉設備法定検査	13	箇所			
2	防火シャッター設備法定検査	21	箇所			
3	耐火ガラススクリーン設備法定検査	4	箇所			
4	防災操作盤 操作費	1	箇所			
5	報告書作成	1	式			
6	技術料等経費	1	式			
7	直接人件費		人日			
	小計					
	消費税	10	%			
	合計					

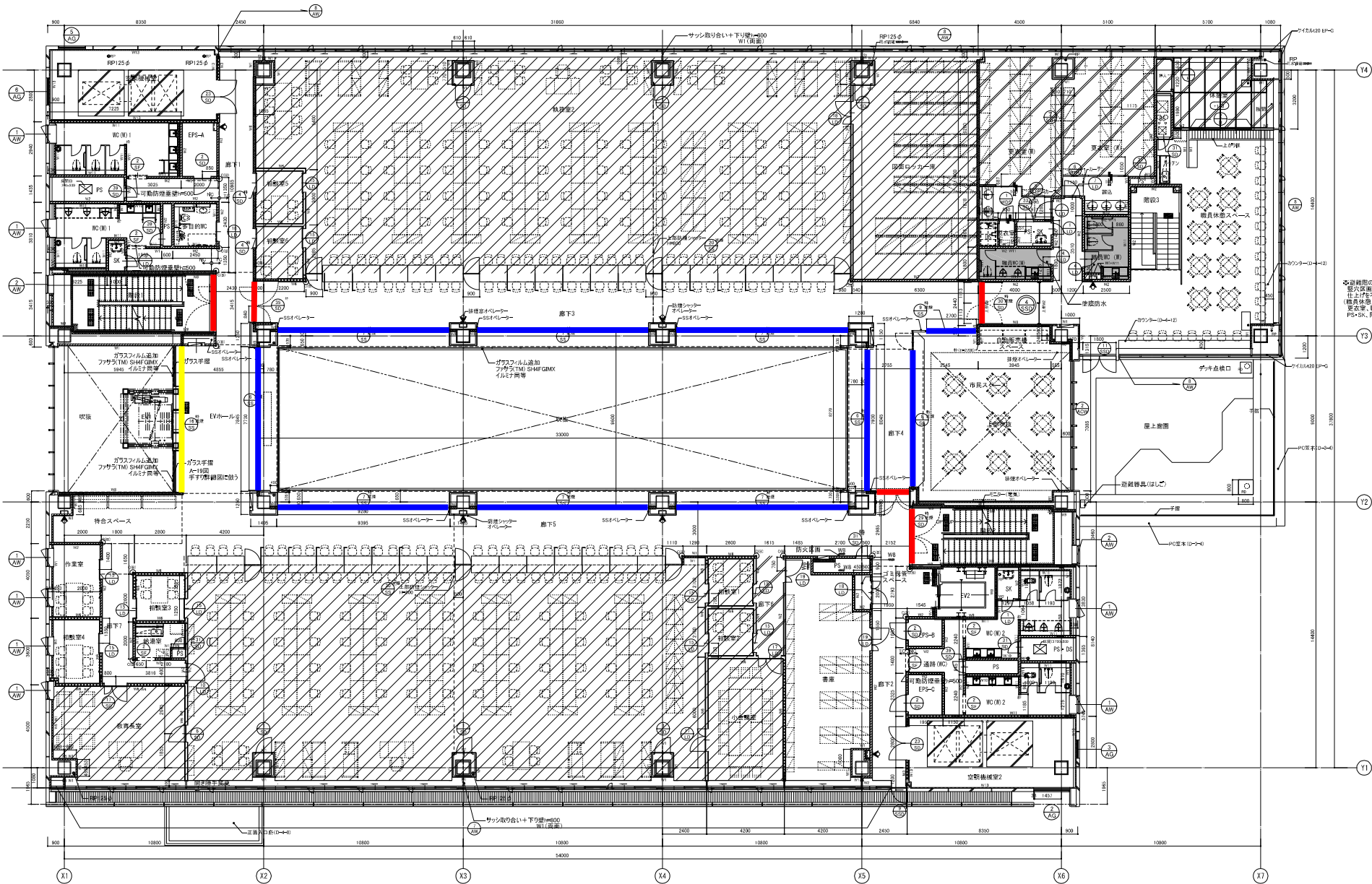
— 防火シャッター
— 耐火クロススクリーン
— 防火扉



(凡例)

RC壁	ALC壁	視覚障害者用点字線 (D-2-15)	伸縮目地 (産線画) (S-01-2)	といた抜口 (D-2-2)	コーナード (D-0-4)
LGS壁	WI 壁	水勾配を表示 (特記なき限り1/100)	フリーアクセスフロア範囲 (H=100)	縦軸 (特記なき限り幅=100φとする)	床開口 (貫通処理は別途工事)
LGS壁様式1時間耐火仕切 (2-23-1)	床仕上げ (特記なき限りF.L±0)	消火器BOX (埋込型) (D-2-3)	フリーアクセスフロア範囲 (H=300)	横軸 (特記なき限り幅=100φとする)	消防隊非常用出入口対応
LGS壁様式1時間耐火仕切 (2-23-1)	機械基礎 (天端:コンクリート直均し仕上) 特記なき限り 定礎基礎 (100φ) ※外周部 (100φ)の幅を必ず (200φ) (天端:鉄筋コンクリート)とし、 100φと150φの幅を必ず (200φ) (天端:鉄筋コンクリート)とし、 100φと150φの幅を必ず (200φ) (天端:鉄筋コンクリート)とし、	消火器BOX (置型)	床板厚範囲 (特記なき限り=100)	地下管 (D=100)	消火器
PC板	屋内消火栓 (D-2-5)	丸掃 (D-3-5)	床板厚範囲 (D-1-3)	地下管 (D=100)	消火器
ECP壁		ラック (内装等は別途表示) (D-1-10) ※全て表示	アスファルト防水範囲	一方斜 (特記なき限り=2400) ST1,βSOP	消火器

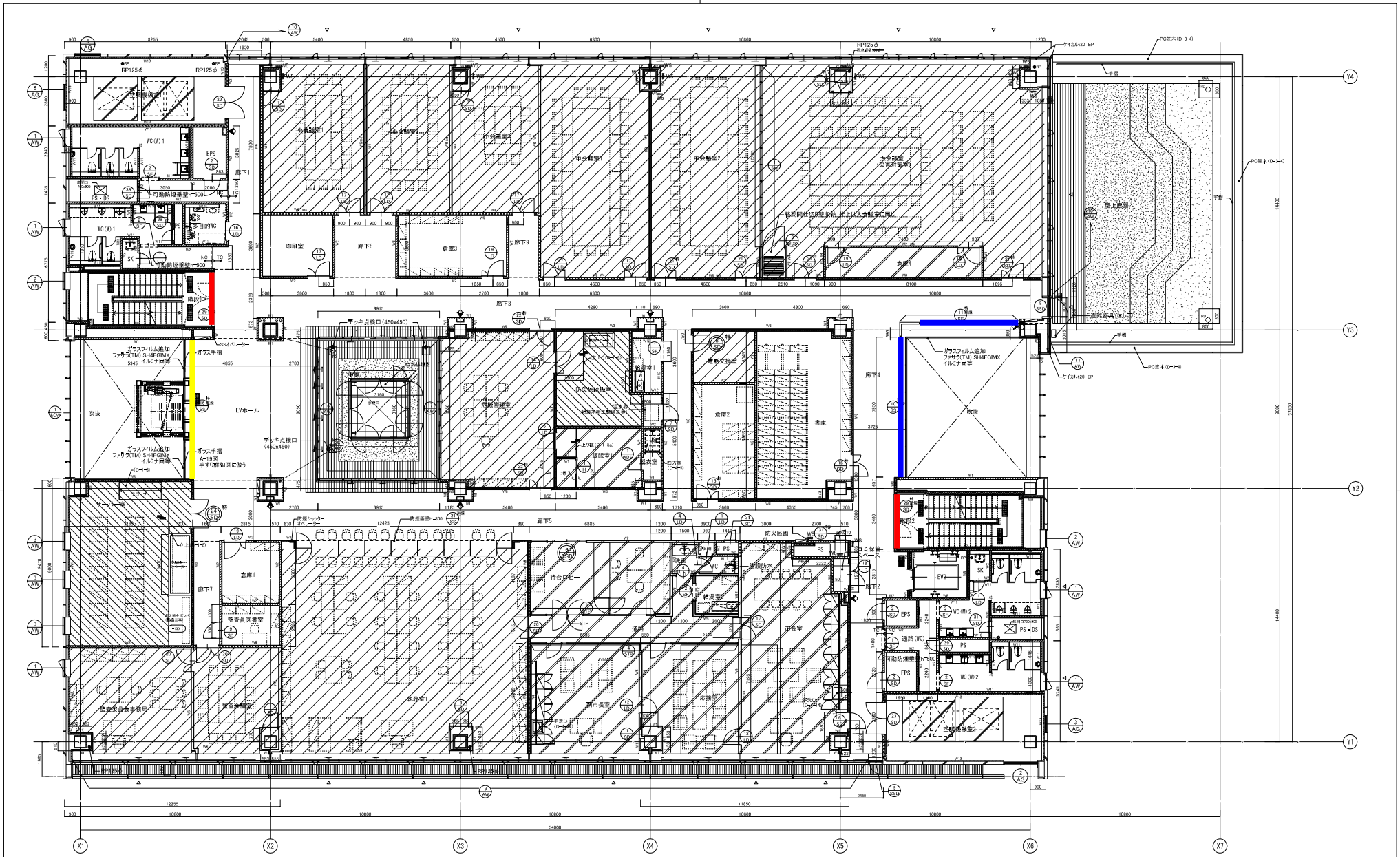
竣工番号 T-16-006		2016年3月11日		稲敷市新庁舎建設工事	
完成図作成責任者	担当責任者	完成図調整者	A	建築工事	
副代表人	担当責任者	株式会社 安井建設事務所 副代表人	05	1階平面図	
				1:100	
安井建築設計事務所					



※避難階の直上に逃げる階段等の
 防火区画線に沿って、内外下地
 仕上げを施す。
 (耐火仕舞スペース、休憩室、
 控室、階段WC、控室、US
 PS-SN、階段室)

凡例		RC壁		ALC壁		視覚障害者用点字線 (D-2-15)		特殊目地 (毎根面) (S-01-2)		といた点検口 (D-2-2)		コーナガードB (D-2-4)	
RC壁	ALC壁	WI	壁種	視覚障害者用点字線 (D-2-15)	特殊目地 (毎根面) (S-01-2)	といた点検口 (D-2-2)	コーナガードB (D-2-4)	RC壁	防火区画線	といた点検口 (D-2-2)	コーナガードB (D-2-4)	床開口 (貫通処理は鉄線工事)	
LGS壁	WI	壁種	床仕上げレベル (特記なき限りFL±0)	水勾配を示す (特記なき限り1/100)	防火区画線 (H=100)	防火区画線 (特記なき限り100φとする)	床開口 (貫通処理は鉄線工事)	LGS壁	防火区画線 (H=100)	防火区画線 (特記なき限り100φとする)	床開口 (貫通処理は鉄線工事)		
LGS壁	WI	壁種	機械基礎 (天端:コンクリート直均し仕上) 特記なき限り (100φ)	消火器BOX (埋込型) (D-2-3)	防火区画線 (H=300)	防火区画線 (特記なき限り100φとする)	床開口 (貫通処理は鉄線工事)	LGS壁	防火区画線 (H=300)	防火区画線 (特記なき限り100φとする)	床開口 (貫通処理は鉄線工事)		
LGS壁	WI	壁種	丸機 (D-3-5)	丸機 (D-3-5)	防火区画線 (D-1-3)	防火区画線 (特記なき限り100φとする)	床開口 (貫通処理は鉄線工事)	LGS壁	防火区画線 (D-1-3)	防火区画線 (特記なき限り100φとする)	床開口 (貫通処理は鉄線工事)		
PC板	WI	壁種	ラック (内装率は取捨を要す (D-3-10) 取捨を要する)	ラック (内装率は取捨を要す (D-3-10) 取捨を要する)	アスファルト防水範囲	アスファルト防水範囲	床開口 (貫通処理は鉄線工事)	PC板	アスファルト防水範囲	アスファルト防水範囲	床開口 (貫通処理は鉄線工事)		
ECP壁	WI	壁種	屋内消火栓 (D-2-5)	屋内消火栓 (D-2-5)			床開口 (貫通処理は鉄線工事)	ECP壁			床開口 (貫通処理は鉄線工事)		

	竣工番号 T-16-006	2016年3月11日	稲敷市新庁舎建設工事	
	完成図作成責任者	完成図調整者	A	建築工事
	副代理人	担当責任者	株式会社 設計建設事務所 監理担当	06
			2階平面図	1:100
			安井建築設計事務所	



(凡例)

RC壁	ALC壁	視覚障害者用点字線 (D-2-15)	待機目地 (屋根面) (S-01-2)	とじ点検口 (D-2-2)	コーナガード (D-2-4)
LGS壁	壁種	水勾配を表示 (特記なき限り1/100)	プライアセフロア範囲 (H=100)	耐火二重窓 縦樋 (特記なき限り幅≧100φとする) 耐火二重窓 (特記なき限り幅≧100φとする) 縦樋 (特記なき限り幅≧100φとする)	床開口 (貫通処理は特記工事)
LGS壁耐火1時間耐火仕切 (2-23-1)	床仕上げレベル (特記なき限りFL±0)	消火器BOX (埋込型) (D-2-3)	耐火二重床 (特記なき限りH=100)	耐火二重床 (特記なき限りH=100)	消防隊非常用出入口代装窓
LGS壁遮音1時間耐火仕切 (2-23-1)	振絨毯 (天盤:コンクリート直均し仕上) 特記なき限り 厚さ≧100mm ※外周部 (100mm) の場合は必ず 100mm (天盤:振絨毯水=0) 100mm (天盤:振絨毯水=0) の場合は必ず 100mm (天盤:振絨毯水=0) とする	丸樋 (D-3-5)	耐火二重床 (特記なき限りH=100)	耐火二重床 (特記なき限りH=100)	消防隊非常用出入口代装窓
PC板	屋内消火栓 (D-2-5)	ガラス (内装部は取替可) (D-3-10) 安全ガラス	床板厚範囲 (D-1-3)	床下空間 (D-3-15) 縦樋表示	消防隊非常用出入口代装窓 消防隊非常用出入口代装窓 消防隊非常用出入口代装窓
ECP壁			アスファルト防水範囲	一方斜 (特記なき限り≧2400) ST1, S2OP	消火設備

竣工番号 T-16-006

2016年3月11日

稲敷市新庁舎建設工事

完成図作成責任者

完成図調整者

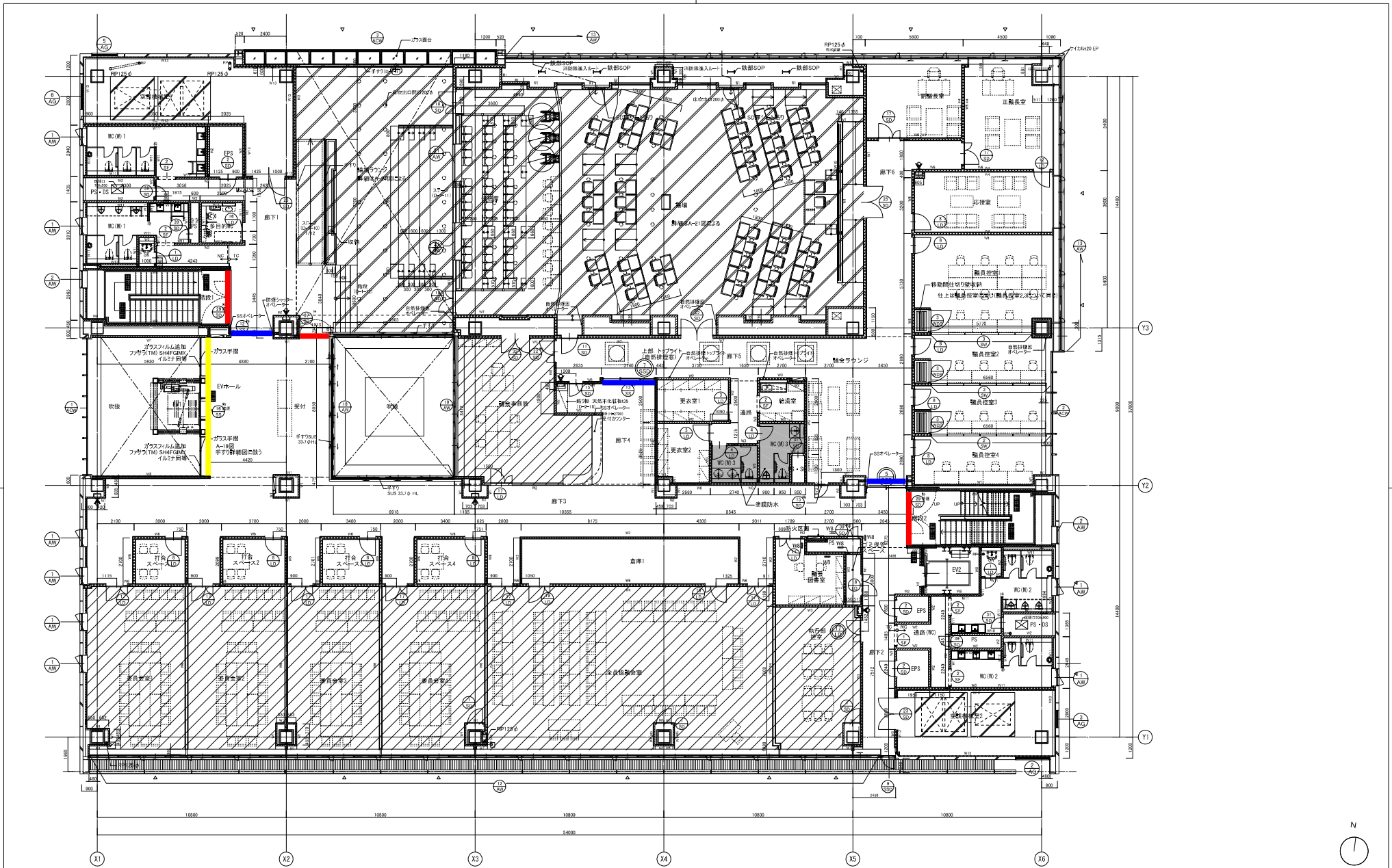
株式会社 設計監理設計事務所
監理担当者

07

3階平面図

1:100

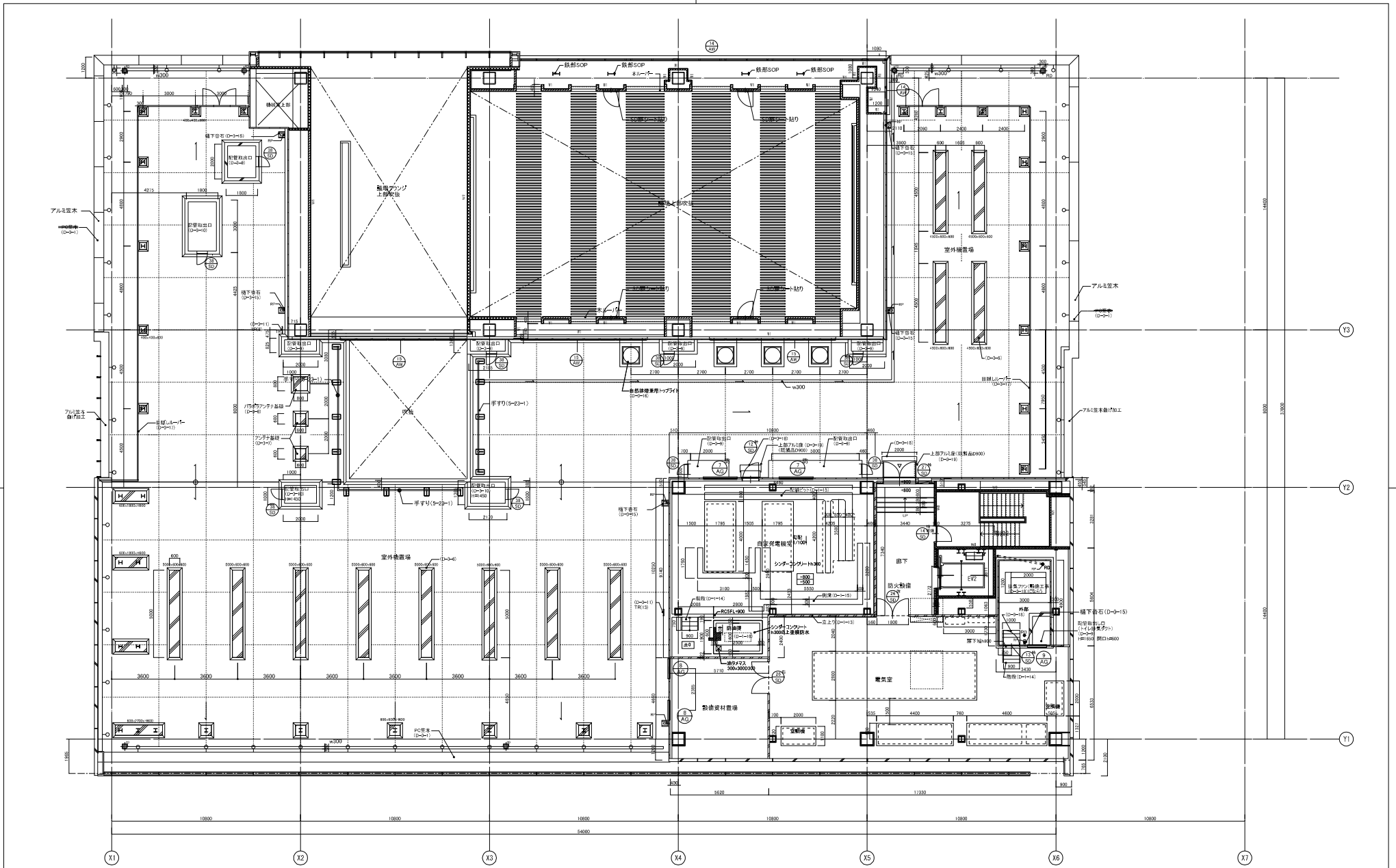
安井建築設計事務所



(凡例)

	RC壁		ALC壁		視覚障害者用点字線 (D-2-15)		特設目地 (僅限目地) (S-01-2)		11点検口 (D-2-2)		コーナガードB (D-2-4)		
	LGS壁		壁種		水勾配を示す (特記なき限り1/100)		消火器BOX (埋込型) (D-2-3)		消火器BOX (置型)		丸線 (D-3-5)		ラフト (内装部は取付可) (D-3-10)
	LGS壁		床仕上げ (特記なき限りFL±0)		振動減衰 (天盤:コンクリート直均し仕上) 特記しない限り: 質量割合100%		消火器BOX (埋込型) (D-2-3)		消火器BOX (置型)		丸線 (D-3-5)		ラフト (内装部は取付可) (D-3-10)
	LGS壁		振動減衰 (天盤:コンクリート直均し仕上) 特記しない限り: 質量割合100%		消火器BOX (埋込型) (D-2-3)		消火器BOX (置型)		丸線 (D-3-5)		丸線 (D-3-5)		ラフト (内装部は取付可) (D-3-10)
	PC板		屋内消火栓 (D-2-5)		ラフト (内装部は取付可) (D-3-10)		ラフト (内装部は取付可) (D-3-10)		ラフト (内装部は取付可) (D-3-10)		ラフト (内装部は取付可) (D-3-10)		ラフト (内装部は取付可) (D-3-10)
	ECP壁		屋内消火栓 (D-2-5)		ラフト (内装部は取付可) (D-3-10)		ラフト (内装部は取付可) (D-3-10)		ラフト (内装部は取付可) (D-3-10)		ラフト (内装部は取付可) (D-3-10)		ラフト (内装部は取付可) (D-3-10)

 竣工番号 T-16-006 完成図作成責任者 副代表人	2016年3月11日	稲敷市新庁舎建設工事	
	完成図調整者	A	建築工事
副代表人	担当責任者	株式会社 設計監理設計事務所 監理担当	08
		4階平面図	1:100
安井建築設計事務所			



(凡例)

RC壁	ALC壁	視覚障害者用点字線 (D-2-15)	梯籠目地 (縦線画) (S-01-2)	1.5点検口 (D-2-2)	コーナーガード (D-4-4)
LGS壁	壁種	水供給を禁ず (特記なき限り1/100)	フリーアクセスドア範囲 (H=100)	縦樋 (特記なき限り幅≧100φとする)	床開口 (貫通処理は鉄筋工事)
LGS壁様式1時間耐火間仕切 (2-23-1)	床面上レベル (特記なき限りFL±0)	消火器BOX (埋込型) (D-2-3)	フリーアクセスドア範囲 (H=300)	開口部 (特記なき限り幅≧100φとする)	消防隊非常着入口代客
LGS壁様式1時間耐火間仕切 (2-23-1)	機械基礎 (天端:コンクリート直均し仕上) 特記なき限り:固定基礎(100φ) ※外周縁(100φ)の割合を必ず1/2以上(天端:青線表示) ※2階以下BSFは固定基礎とする。2階以上は固定基礎としなければならない。	消火器BOX (置型)	耐火扉 (特記なき限り幅≧100φとする)	開口部 (特記なき限り幅≧100φとする)	消防隊非常着入口代客
PC板	室内消火栓 (D-2-5)	丸燈 (D-3-5)	床板貫通 (D-1-3)	開口部 (特記なき限り幅≧100φとする)	消防隊非常着入口代客
ECP壁		丸燈 (D-3-5)	アスファルト防水範囲	開口部 (特記なき限り幅≧2400) ST1,5/SOP	消防隊非常着入口代客

竣工番号	T-16-006	2016年3月11日	稲敷市新庁舎建設工事	
完成図作成責任者	担当責任者	完成図制作者	A	建築工事
制作者	担当責任者	株式会社 設計事務所	09	5階平面図
安井建築設計事務所				